

(5) 養護教諭部会

会 長 谷崎 陽菜 (中村中学校)
副会長 朝比奈 光代 (中筋小学校)
事務局 谷崎 陽菜 (中村中学校)

1. 研究主題

「児童・生徒の実態に基づいた保健指導をめざして」

2. 研究経過

実施月日	研究のあらまし	会場	備考
令和2年	第1回学習会(4月予定) →新型コロナウイルス感染防止対策のため中止 ・資料にて各自研修	四万十市 中央公民館	
7月9日(木)	小学校100人以上グループ ・研究の計画	具同小学校	4名参加
7月10日(金)	中学校グループ ・自己紹介・研究テーマと内容について	中村中学校	5名参加
7月21日(火)	小学校100人未満グループ ・組織作り・活動計画 ・取り組み内容の確認	四万十市立 武道館	10名参加
8月3日(月)	小学校100人以上グループ ・グループ研究	中村南小学校	4名参加
8月4日(火)	小学校100人未満グループ ・発表資料の構成確認、作成	四万十市立 武道館	9名参加
8月21日(金)	中学校グループ ・資料の持ち寄り ・グループ分けと方向性の確認	中村西中学校	6名参加
10月1日(木)	中学校グループ ・グループ別活動	県立中村中学校	7名参加
10月22日(木)	小学校100人未満グループ ・生活点検分析・個別指導内容の検討	四万十市 防災センター	9名参加
11月26日(木)	中学校グループ ・グループ別活動	東中筋中学校	6名参加
12月1日(火)	小学校100人以上グループ ・グループ研究	中村南小学校	4名参加
12月8日(火)	小学校100人未満グループ ・発表資料の添削、研究のまとめ	四万十市立 武道館	9名参加
12月28日(月)	小学校100人以上グループ ・グループ研究のまとめ	具同小学校	4名参加
令和3年 1月12日(火)	中学校グループ ・今年度のまとめ	下田中学校	5名参加
2月2日(火)	小学校100人未満グループ ・発表資料の確認、今年度の反省・まとめ	四万十市 武道館	

3. 各グループの取り組み

(1) 小学校 100 人未満グループ

①研究テーマ「 基本的生活習慣の確立を目指して

～一人ひとりの児童に応じた個別指導の充実～ 」

②研究内容

- ・教材作成、活用（コメントシール）
- ・各校個別指導内容の実践交流
- ・令和3年度発表資料の作成



(2) 小学校 100 人以上グループ

①研究テーマ「 基本的生活習慣の確立を目指して

～児童・家庭・教員の意識向上のための取組～ 」

②研究内容

- ・アプローチ方法の検討会
- ・教材作成、活用
(こっこからの手紙&DVD、ポケット冊子「はやねのひみつ2」の作成)
- ・年2回の通信発行
- ・発表資料の作成 等



(3) 中学校グループ

①研究テーマ「 中学生の基本的生活習慣について～自己コントロール力をつけるために～ 」

②研究内容

- ・インターネット依存度チェックと集計・・・各学校全校生徒を対象に実施
- ・掲示物作成と掲示（スマホベッタリ度・依存した脳・疲れる脳・奪われる時間）
- ・通信発行（2回）
No1 インターネット依存度チェック集計結果・使い過ぎによる様々な害についてなど
No2 自己コントロール力について

4. 今年度の成果と課題 (○…成果 ●…課題)

(1) 小学校 100 人未満グループ

- コメントシールや付箋を活用し、個々の頑張りを褒めたり、アドバイスを記入したりすることで、意欲や自己肯定感の向上につながった。
- 児童だけでなく、保護者に対して付箋でコメントすることで、家庭との連携につながった。
- マナーリ化を防ぎ、児童の意欲を高めるために行った表彰や評価方法では、児童の意欲向上や保護者が生活改善に関心をもつことにつながった。
- 生活点検期間は守ろうと頑張れるが、それ以外の期間は守れない児童がいる。
- 保護者に意識の差があり、家庭への働きかけが難しい。
- 生活改善が難しい家庭にとっては、付箋を活用することが、負担になってしまうことがあった。



(2) 小学校 100人以上グループ

- こっかが教える早寝のひみつ2を作成することができ、子どもたちへの指導及び、保護者への意識付けを行うことができた。また就学時検診でも配布することができたことも効果的な取組であった。
- 早寝キャラの“こっこ”を使用した手紙やDVD、シールは、研究サブテーマでもある“児童、家庭、教員の意識向上のための取組”としての有効な手段となった。
- 6年前から始めた【こっこ通信】を年間2回継続して発行できたことも大きな成果であった。
- 研究を継続することで、新しいアイデアがたくさん生まれ、微力ながら児童の生活改善に関わることができた。
- 今年度、保小の連携は1歩進めることができたが、中小連携はまだ確立できていない状態である。
- 『早寝』は保護者への啓発が難しい課題である。早寝ができない原因の一つに『ゲーム依存』があると感じているが、『早寝』と『ゲーム依存』両面に対してどのようなアプローチ方法が適切なのか検討が必要である。



(3) 中学校グループ

- 各校の養護教諭が連携し、情報を共有することができた。
- インターネット依存度チェックの実施で、生徒が日常生活を振り返る、良い機会となった。
- 生徒の関心をひく掲示物を作成できた。
- 通信を通して情報を発信することで、生徒・保護者・教職員の意識づけができた。
- 依存度チェックの結果から分かった、気になる生徒への働きかけの工夫が必要である。
- 12月に同時に何枚も掲示したため、掲示の仕方についても計画的に行えたらよかった。
- 行動変容できるよう継続した指導や啓発が必要である。

